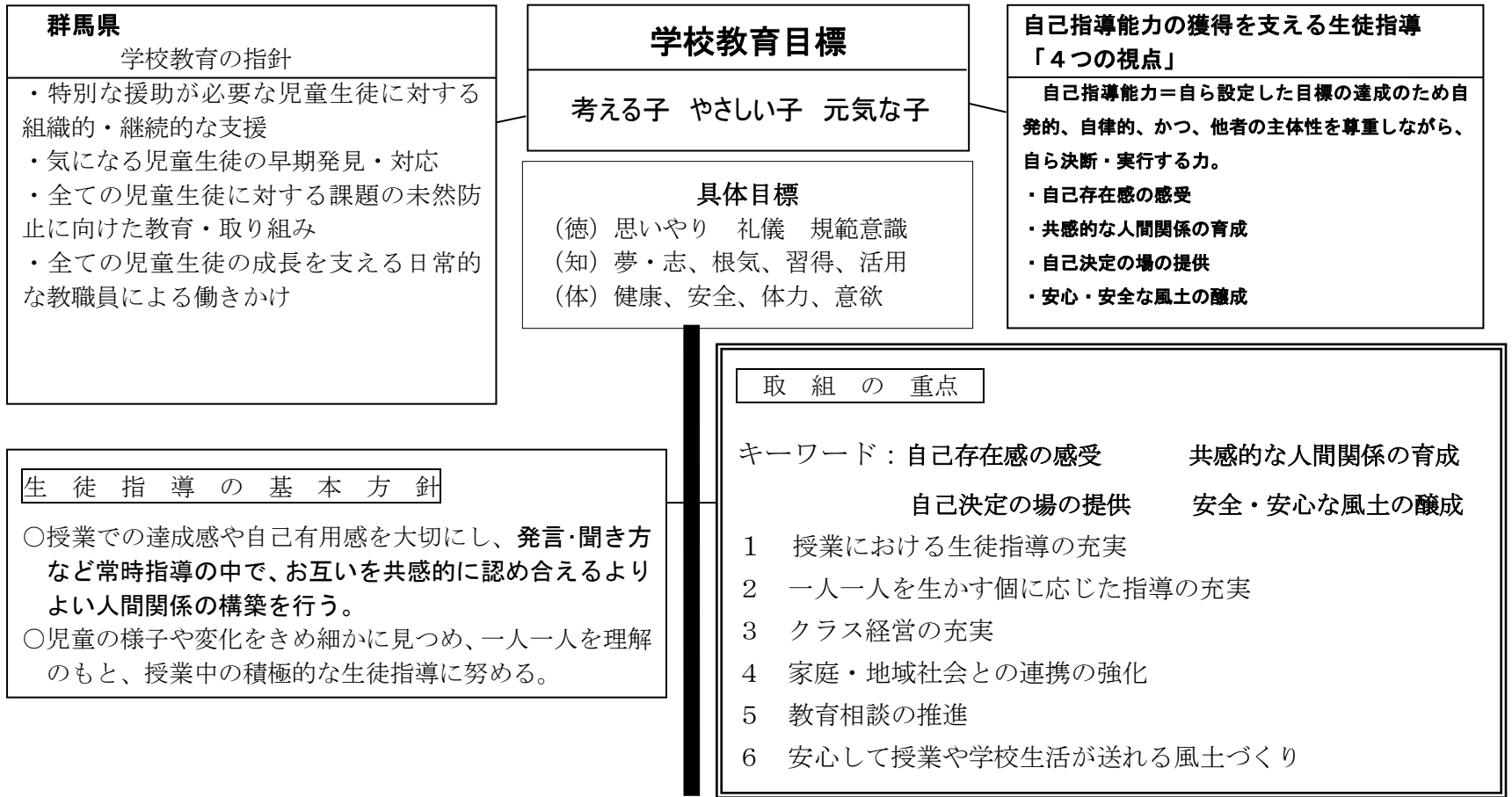


令和7年度 生徒指導の全体計画



具体的な取組

- きめ細かな児童理解に努め、児童一人一人の居場所をつくり、温かな学級学年づくりを進める。
- 学級活動でエンカウンターやソーシャルスキルトレーニングを取り入れ望ましい人間関係作りが行えるように心がける。
- 児童会を通して「人権の花」等の活動を行い、互いのよさが認められる力を高める。
- 9年間の学び、福島小学校「よい子の生活」の実践化の工夫に努めるとともに、発達段階に応じた基本的な生活習慣を身に付けさせる。
- 連絡ノート、電話連絡、学級通信を活用し、家庭との連携を図ったり、開かれた学校づくりや学校 web ページの活用などにより、地域との連携を強めたりしながら、児童のよりよい成長に努める。
- 児童の気付き、振り返り、実践を温かく見守りながら意欲の向上や自己実現を図る指導に努める。
- 生徒指導に関する情報交換を行い定期的に行い、問題行動発生時の予防及び発生時の適切な対応、校内及び関連機関との連携に努める。
- なかよしアンケートを活用し、児童の些細な変化に気付けるようにする。(生徒指導委員会の効果的な運営)

各教科・外国語活動 総合的な学習の時間	学級活動	児童会活動	クラブ活動	学校行事
<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人の児童の能力が 発揮できる学級づくり。 ・自分の力の伸びを自覚させ、充実感を持たせる。 ・めあてを明確にし、学習に意欲的に参加させる。 ・児童相互の協力、援助、磨き合いをつくり出し、共に高め合う。 ・よい学習習慣を定着させる。 <p>最適化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身に付けさせたい資質・能力を明確にした総合的な学習の指導に努める。 ・かけがえない生命の尊さについて指導内容を充実させる。 	<p>学級の望ましい集団生活を通して、心身の調和的発達と、個性の伸長を図り、自主的、実践的な態度を育てる。</p>	<p>児童一人一人の自発的・自治的な実践活動を通して心身の調和のとれた発達を目指すとともに、自主性、社会性を養い個性の伸長を図る。</p>	<p>共通の興味・関心を追究する中で、個性の伸長と社会性の育成を図り、のびのびと楽しい学校生活を送ろうとする実践的態度を養う。</p>	<p>道徳的価値を具体的に位置付けた実践的・体験的な集団活動を通して、日常の学習成果の総合的な発展を図る。</p>

研修の充実	教育相談	地域社会との連携
<ul style="list-style-type: none"> ・校内研修の充実 ・自己研修の充実 ・教育相談と事例研究 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校生活への援助 ・いじめ、不登校問題の未然防止、早期対応 ・悩み、問題をもつ児童へのカウンセリング 	<ul style="list-style-type: none"> ・子育連（地域の行事等）との連携 ・PTAや支援ボランティアとの連携 ・幼、中、高、各種団体との連携